

新型コロナウイルス感染症の対応等について

世界中に感染が広がった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して、ワクチン開発が急速に進み、日本国内でも予防接種が始まりました。しかしながら、ワクチンの供給量など諸事情により、予防接種が全体に行き渡り、集団免疫を獲得できる（流行しないようになる）までにはもう少し時間がかかりそうです。

新型コロナウイルスは、症状が現れる直前・直後に感染させる力が特に高くなり、気づかぬうちに感染させている場合があると言われています。緊急事態宣言等の発出にかかわらず、基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」（特にリスクの高い5つの場面）を避けるなどを継続していくことが重要です。また、感染が疑われる時の対応を確認しておくことも大切です。

<予防策>

2月中旬から医療従事者等に対する予防接種が始まり、今後、高齢者、高齢者以外で基礎疾患を有する方（*）、高齢者施設等の従事者、60～64歳の方、それ以外の方、というように、順次行われる予定になっています。

日頃の感染症対策として、引き続き、基本的な感染予防（石けん・流水での手洗い、マスク着用、身体的距離の確保など）の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」（特にリスクの高い5つの場面**）を避けるなどを実践していきましょう。また、体温測定・健康チェック、適度な睡眠・栄養・運動などにより、体調を整えるよう心がけましょう。

* 基礎疾患を有する方：慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・糖尿病・高血圧症・心血管疾患等で受療中の方、BMI 30以上の肥満の方等

** 感染リスクが高まる「5つの場面」：①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり

<感染が疑われる時の対応>

【発熱や咳など風邪の症状が続く場合】

かかりつけの医療機関、または、お住まいの都道府県が設置している受診・相談センターに電話等で相談して、指示に従ってください。受診・相談センターは、自治体により名称等が異なり、医療機関検索システムや、聴覚に障害があるなどにより電話での相談が難しい場合のツールを導入している所もありますので、ホームページ等で確認しておきましょう。

【感染していることがわかった場合】

登校停止となります。保健所の指示に従って療養・経過観察しますが、まずは保健室または学生支援課へご連絡ください。長期休暇中や通学週ではない場合も連絡してください。

症状の軽快後、一定期間を経て、登校を再開する際は、保健室または学生支援課へ連絡し、状況をお知らせください。就業（登校）制限解除通知書等を発行されている方は、コピーを保健室または学生支援課へ提出してください。

【濃厚接触者と判定された場合】

保健所の指示に従いますが、感染者との接触日から 14日間程度は登校停止となります。保健室または学生支援課へご連絡ください。登校停止期間中は、体温測定、発熱や風邪のような症状がないかなど健康観察を続け、症状が現れなければ、保健室または学生支援課へ連絡してから、登校再開が可能となります。

【その他】

- 保健室は、状況に応じて学生支援課、対策本部と情報を共有することがあります。
- 新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報は、下記の関連リンク等もご参照ください。
※情報は、随時更新・変更されますので、適宜ご確認ください。

「新型コロナウイルス感染症について」（厚生労働省ホームページ内）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

「新型コロナウイルス感染症について」（東京都福祉保健局ホームページ内）

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/shingatakorona.html>

- ご不明なことは、保健室へ（授業に関することは教務課へ）お問い合わせください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

